

神照小学校からの報告

水生生物調査結果

調査場所名 (No.)		新庄寺町 No.1	神照小学校運動場東側 No.2	口分田町 No.3										
月	日 時 刻	5月25日 15時00分	6月8日 15時00分	7月24日 9時15分										
天	気	曇り	曇り	曇り										
水	温 (°C)	19.0 °C	20.0 °C	18.0 °C										
気	温 (°C)	26.0 °C	25.0 °C	29.0 °C										
川	幅 (m)	1.8 m	3.0 m	0.9 m										
河	川 名	新庄寺町の川	鬼川	大井川支流										
生	物 を 採 取 し た 場 所	全面	全面	全面										
水	深 (cm)	16.0 cm	24.0 cm	20.0 cm										
流	速 (cm / s)	20.0 cm/s	71.0 cm/s	33.0 cm/s										
水	の よう す	指標生物												
I き れ い	1	カワゲラ類	○											
	2	ナガレビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類												
	3	ヒラタケゲロウ類												
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類												
	6	カガンボ類	○											
	7	サワカニ	●	○										
I・II 共通	8	ウスムシ類	●											
	9	2以外のビケラ類		●										
	10	3、14以外のカゲロウ類		○										
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類												
	12	ジジミ類	○	○										
II・III 共通	13	カワニナ	●	○										
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類	●											
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミス類												
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のような区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	2	2	2	0	2	1	0	0	3	4	1	0
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	1	2	0	1	1	0	0	1	1	0	0
	合 計 (1欄+2欄)		3	3	4	0	3	2	0	0	4	5	1	0
判定結果(合計が最も大きい区分)		III				I				II				

水生生物調査結果

調査場所名 (No.)		新庄寺町 No.4	神照小学校運動場東側 No.5	No.6										
月 日 時 刻		9月28日 15時00分	11月10日 15時00分											
天 気		曇り	晴れ											
水 温 (°C)		18.0 °C	15.0 °C											
気 温 (°C)		22.9 °C	18.0 °C											
川 幅 (m)		1.9 m	3.4 m											
河 川 名		新庄寺町の川	鬼川											
生物を採取した場所		全面	全面											
水 深 (cm)		12.0 cm	14.0 cm											
流 速 (cm / s)		40.0 cm/s	71.0 cm/s											
水 の よ う す		指標生物												
I きれい	1	カワゲラ類												
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類												
	3	ヒラタケロウ類												
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類												
	6	カガシボ類												
	7	サワガニ	●											
I・II 共通	8	ウスムシ類												
	9	2以外のトビケラ類												
	10	3、14以外のカゲロウ類												
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類												
	12	ジジミ類	●				●							
II・III 共通	13	カワニナ	○											
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類					●							
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミス類												
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のようなすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	合 計 (1欄+2欄)		2	3	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	判定結果(合計が最も大きい区分)		II				II・III							

調査考察、活動内容等

神照小学校では、クラブ活動の「生物クラブ」として活動する中で、みずすまし活動を行っています。平成 29 年度は 12 名（4 年生 6 名・5 年生 5 名・6 年生 1 名）の隊員で活動しました。

新庄寺町の川と運動場の東側にある鬼川の指標生物の採取は、1 学期、2 学期に同じ地点を調査し、季節による変化があるのかを調べました。

学校から離れている大井川支流の口分田地点は、夏休みに行いました。

学校ビオトープの生き物調査も 6 月に行いました。

河川調査活動

【新庄寺町の川の調査】

調査活動 1 調査日 5 月 25 日 天気 曇り 水温 19 度

調査活動 4 調査日 9 月 28 日 天気 曇り 水温 18 度

5 月は、指標生物 5 種類、その他 1 種類の計 8 種類の生き物が確認できました。指標生物の中では、サワガニ、カワニナ、ヒル類が多くいました。指標生物による水質階級の判定では、Ⅲとなり、この川は汚れている川であることが分かりました。



9 月は、指標生物 3 種類が確認されました。指標生物は、サワガニ、カワニナ、シジミ類がいました。サワガニが 57 匹、シジミ類が 52 匹とたくさんいました。指標生物による水質階級の判定では、Ⅱとなり、この川は少し汚れている川であるということが分かりました。

5 月と 9 月の川や生き物の様子を比べてみました。

川の水質は、5 月がⅢ、9 月がⅡで、季節によってこの川の水質は変わることが分かり、春よりも夏の終わりの方が良くなることが分かりました。

生き物は、9 月の方が 3 種類少なく、指標生物の種類が半分に減っていました。しかし、サワガニやシジミ類の数は、5 月よりもかなり多かったです。

この結果から、季節によって生き物の様子は変わることが分かりました。そして、指標生物の多くは、水温が低くなると、あまり見られなくなるということ、反対にサワガニやシジミ類は数が多くなることが分かりました。

【神照小学校運動場東側の川の調査】

調査活動 2 調査日 6 月 8 日 天気 曇り 水温 20 度

調査活動 5 調査日 11 月 10 日 天気 曇り 水温 15 度

6 月は、指標生物がカワゲラ類、ウズムシ類の 2 種類しか確認できませんでした。その他の生き物では、ザリガニが 1 匹、スジエビがたくさんいました。指標生物やその他の生物から水質階級の判定は、Ⅰ・Ⅱでした。

11 月は、指標生物がシジミ類、ヒル類の 2 種類のみしか確認できませんでした。その他の生き物では、ザリガニが 4 匹、ドンコが 7 匹、ナマズが 1 匹、スジエビが 30 匹以上いました。また、スジエビの死骸が多く見られ、腐敗臭が漂っていました。指標生物による水質階級の判定は、Ⅱ・Ⅲ

でした。

6月と11月の川や生き物の様子を比べてみました。

川の水質は、6月よりも11月の方が悪くなっていました。生き物は、両月とも指標生物の種類や数が少なかったです。しかし、スジエビの数は、両月とも大変多かったです。

この結果から、この川は指標生物が暮らすのに適していない川であり、スジエビにとっては、暮らしやすい環境の川であるということが分かりました。また、新庄寺町の川と違い、水質変化の様子が逆であったことから、季節により水質が良くなる川と悪くなる川があることが分かりました。

【大井川支流（口分田町自治会館近くの川）調査】

調査活動3 調査日 7月24日 天気 曇り 水温 8度

指標生物では、カゲロウ類、トビケラ類、サワガニといったきれいな水にすむ生物が多く見られました。トビケラ類は500匹以上いました。昨年度と比べると4倍以上の数となり、水質が良くなっていることが分かります。きれいな水にすむ生き物を多く見つけることができ、子どもたちも喜んでいました。指標生物以外の生き物ではヨコエビが30匹以上見られました。

この川の水温は、他の川より4度以上も冷たいそうです。姉川の伏流水がたくさん湧き出ているからだそうです。上流には源流となる井戸があり、ほこらを建ててまつられています。地域の方が『命の水』として大切にしておられるそうです。



水生生物調査活動をふり返って（子どもたちの思い）

☆同じ川を違う季節に2度調べたことで、いろいろなことが分かりました。生き物の種類にちがいはありました。水質の変わる川があることも分かりました。

☆季節が違えば水温もすごく変わることが分かりました。11月に入った川の水は、すごく冷たかったです。

☆口分田町の川の調査をしたとき、トビケラ類の多さにびっくりしました。1つのトレイに全部集めてみたら、気持ちが悪くなるほどの数でした。（右 写真参照）

☆新庄寺町の川は、見た目はきれいな川だと思っていたけれど、汚いという判定が出たので、驚きました。これからは、きれいな川にしていきたいです。

☆新庄寺町の川の調査をして、汚い川にすんでいる生き物が分かりました。

☆ちょっと見ただけでは、何もいないように見えるけれど、調べてみると、多くの生き物がとれました。

☆鬼川は、エビが多くて、驚きました。

☆口分田町の川は、水が透き通っていて見た目もきれいでした。入ってみると水が冷たくびっくりしました。また、きれいな川にすむ生き物が多くいて、本当にきれいなことがわかりました。口分田町の方々が、手入れをされているからだとわかりました。昔から川を大切にされているのはすごいいいと思いました。

